愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	現代経済学		
担当者(Instructors)	中山 孝男	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業では、現代経済の仕組みと動きを考えるために最小限必要なレベル＋α（プラス・アルファ）の経済学を講義する。より具体的には、一般に経済学の基礎理論にはミクロ経済学とマクロ経済学があると言われているが、そのうち後者（マクロ経済学）のエッセンスをじっくりと講義する。受講生には、完璧に理解してもらえるように、下記テキストに即した授業プリントを毎回配布し、受講生の理解度を確認しながら進めていく。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	上に書いたように、マクロ経済学の入門レベルのテキストを用いて、確実に理解してもらえるようにゆっくりと説明する。もちろん、時には応用的な話になるかもしれないが、そうした場合にも理解してもらえるように最大限工夫する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	はじめに：この授業の内容と進め方の説明と受講上の約束	この授業で、何をどのように学ぶのかをしっかりと説明する。履修上の注意と約束を確認する。	□
第2回	ＧＤＰとは何か	テキストpp.21-34	□
第3回	ＧＤＰ――三面等価の原則	テキストpp.34-52	□
第4回	ＧＤＰはどのように決まるのか	テキストpp.54-71	□
第5回	ＧＤＰと政府支出	テキストpp.74-87	□
第6回	ＧＤＰと消費・投資支出	テキストpp.87-104	□
第7回	利子率と投資	テキストpp.106-122	□
第8回	金融政策	テキストpp.122-136	□
第9回	外国為替相場とは何か	テキストpp.138-152	□
第10回	金融政策と為替相場	テキストpp.152-174	□
第11回	企業と価格決定	テキストpp.176-185	□
第12回	インフレ率の決まり方	テキストpp.185-198	□
第13回	長期のお話	テキストpp.198-210	□
第14回	テキストの補足	テキストpp.211-219	□
第15回	総まとめ	全体の復習	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習：次回の授業で扱う範囲のテキストを読む（80分）。　事後学習：授業の内容をしっかりと復習する（60分）。　上の2つに加えて、毎日の新聞・TVで経済のニュースを読む・見る（毎日15分以上）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業中に毎回実施する小テストは、次回の授業の冒頭で詳細な解説を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

知識・技能	◆ 2021地域ビジネスDP1	企業経営全般にとっての基礎理論となるマクロ経済学に関する知識が身につき、経済社会の仕組みと動きの意味が理解できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			80%	20%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回の授業内容の理解度を問う小テストが20%、総まとめの後に行うテストが80%、以上の合計100%で成績を評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	塩路悦郎『やさしいマクロ経済学』日経文庫、2019年	978-4-532-11405-3
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	古沢泰治・塩路悦郎『ベーシック経済学ー一次につながる基礎固め＜新版＞』有斐閣アルマ、2018	978-4-641-22123-9
2		
3		
4		
5		